



河越 安実治 議員

### 防災対策について

更なるレベルアップのため、  
どのような防災訓練を考えているか。

**答** 気象台等から講師を招き、必要な情報を整理し事態の推移を予測しながら、必要な対策をシミュレーションする研修会を開催し、職員個々の災害対応能力の向上を図る研修を開催しており、今後もこうした研修を充実してまいります。

**問** 台風19号では、避難所が満員となり、避難所不足が課題として浮き彫りとなった自治体があったが、本市の避難所の現状と課題は。

**答** 政策部長

本市の全ての広域避難所の収容人数は、およそ18,000人で、これは滋賀県が実施した琵琶湖西岸断層に起因する地震の被害想定における避難者数の11,444人を収容できる能力を保有しています。しかしながら、想定を超える避難者が発生した場合



には、生活支援が必要な方が利用する福祉的スペースの確保等、様々な課題があることは認識しています。

**問** 避難所の見直しについて市の考え方は。

**答** 政策部長

現在、県において一級河川等の洪水想定や地先の安全度マップの見直しが行われており、遅くとも来年度早々には結果が公表されると聞いています。その結果を踏まえ、現状の避難所が抱える様々な課題を解消していくため、次年度において指定避難所等の見直しを含めた地域防災計画の見直しを行いたいと考えています。見直しに際しては、民間施設を含め、安全な避難

施設の確保を目指したいと考えています。



防災訓練

**問** 河川の周辺が危険な場所であると認識する中で、河川の周辺に位置する避難所は何か所あるのか把握できているか。

**答** 危機管理局長

風水害時の避難所として54か所の避難所を指定しており、その内、防災マップによる浸水深の想定が50cmを超える避難所が13か所あります。また、河川に近接した避難所は9か所です。

### その他の質問

● 高島市のスポーツ振興、観光振興について